25.12.23 東奥日報記事

県立高「授業料以外」費用

入学年度 平均23万円

市民団体 県教委に負担軽減要望

東奥日報 25.12.23

県立高校で、制服や副教材など入学初年度にかかる授業料以外の費用が、生徒1人当たり平均23万円に上り、学校間や男女間で負担の差が大きいことが22日、市民団体「県政を考える会」の調査で分かった。最高額は男子が三戸の約29万4千円、女子が八戸東の約32万円。同会は同日、県教育委員会に、家庭負担の軽減や格差是正を図り、無償教育の実現に向けた対策を求める要望書を提出した。

同会は5月、県教委に対し、本年度県立高校に入学した生徒が3～4月にかかった費用に関する文書の開示を請求。全43校分の開示を受けた。

1人当たりの費用総額は約8万8千～32万円と学校ごとに差が大きく、女子は男子よりも平均約2万5千円高かった。男女差には制服の金額の違いが影響しているとみられる。教科書・副教材費は青森工業機械科が約6万6千円と最高。鯵ケ沢は後援会が全額補助しており、無料だった。

「任意」とされる部活やPTAの経費を一律徴収する学校があるほか、高体連や高文連の「入会金・負担金」も全高校で一律徴収していることも分かった。

同日、県庁で記者会見した同会の仁平将共同代表は「公立高校の授業料は実質無償化したが、それ以外の経費がかかる。いろいろな項目でお金が徴収されているが、(何に使うのかを)きちんと説明しているのか疑問だ。大きな問題であり、県教委にも考えてもらいたい」と訴えた。

(工藤槙子)

県立高入学時費用

学校間の差軽減を

市民団体、青森県教委に要望

25.12.23 D

弘前市の市民団体「青森県政を考える会」は22日、教材や制服など県立高の入学時にかかる費用について学校間などで差が大きいとして、県教委に対し軽減措置を講じるよう要望した。

会によると県教委に対する開示請求で、2025年度に県立高（全日制）に入学した生徒の3、4月の費用は平均約23万円に上った。最低は約9万円の一方で30万円を超える学校もあった。費用の多くは制服代が占めたという。

担当者（右）に要望書を手渡す仁平将共同代表＝22日、青森県庁

要望には▽制服、体育着の負担軽減▽PTA・後援会費の徴収根拠、使途の透明化－など6項目を盛り込んだ。

同日は仁平将共同代表が教育政策課の担当者に要望書を提出した。仁平共同代表は取材に「男女や学校間で差が大きい」などとし入学時にかかる費用の改善を訴えた。

(磯野雄太郎)